

第2回 横浜市泉区福祉保健活動拠点指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和7年4月11日（金） 午後0時45分から2時5分まで
開 催 場 所	泉区役所4階4ABC会議室
出 席 者	【選定委員会委員】 委員長 村井 祐一（田園調布学園大学副学長・人間福祉学部教授） 委員 秋葉 輝夫（下和泉地区民生委員児童委員協議会会長） 有坂 太志（泉区介護支援専門員連絡会代表） 泉 直子（泉区地域子育て支援拠点すきっぷ前施設長） 浦 恭子（東京地方税理士会戸塚支部） 【事務局】 泉区福祉保健センター長 瀧澤 朋之 泉区福祉保健課長 岩井 裕子 泉区福祉保健課事業企画担当係長 大井 翔 泉区福祉保健課事業企画担当 伊藤 貴、大山 翔子
欠 席 者	なし
開 催 形 態	非公開
議 題	1 審査方法について 2 申請団体の面接審査 （1）本市重要政策を踏まえた申請団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明 （2）申請団体の面接審査 3 指定候補者の選定、講評
決 定 事 項	指定管理者の候補者（以下「指定候補者」という。）として、次のとおり、横浜市泉区長に報告することとする。 ○ 横浜市泉区福祉保健活動拠点の指定候補者 社会福祉法人横浜市泉区社会福祉協議会
議 事	<u>1 審査方法について</u> 事前確認事項 事務局から、社会福祉法人横浜市泉区社会福祉協議会から申請書類の提出があった旨を報告するとともに、次の項目について確認した。 ○委員会の公開・非公開 申請団体審査、指定候補者の選定に関する審議について非公開とすることを確認。（第1回委員会で審議済み） ○審査方法について （事務局）

- ・プレゼンテーションの流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。
- ・最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。

○事務局からの報告

(事務局)

次の事項について、事務局から報告した。

- (1) 団体役員調査・照会結果
- (2) 市税納付状況・照会結果

- ・資格要件について、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。
- ・欠格事由に該当しないことを報告。

○財務状況に関する調査結果報告

- ・浦委員より財務分析結果報告書について説明。

○前期の指定管理業務の実績等の報告

事務局より本市重要政策を踏まえた申請団体の取組状況について説明。

事務局より前期実績報告書について説明。

○質問項目の確認

委員間で、プレゼンテーション後の質問項目について確認した。

2 申請団体の面接審査

(1) プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

(2) 主な質疑応答

(委員) ボランティア活動を支援するうえでの感染症の防止についての言及がないが、ボランティア向けの感染症に関する研修などの取組は行っているのか。

(団体) コロナ対策のような施設管理を行ううえでの取組は行っているが、ボランティアを対象とした感染症の発生・まん延に備えるための取組までは行っていない。

(委員) 貸室を借りる際、現在は電話か直接窓口で申込となっているが、デジタル化（予約システムの導入）に向けた動きはあるのか。

(団体) 貸室数が少ないので、今のところ予約システムがなく不便という声はあまり聞いていない。経費もかかるので泉区単独で導入するのは現実的でないと考えている。地域ケアプラザではシステム導入に向けた動

きがある。その状況をふまえながら、いずれはホームページ上などでの予約システムが必要になってくると思うが、今年度は特に予定していない。

(委員) 個人や団体のボランティア登録者数について、本来目指している指標はあるのか。

(団体) 以前は区に1箇所あるボランティアセンターが中心というような形だったが、現在は地域ケアプラザでも地域の活動を広く把握している。地域の方からの相談内容をふまえて地域ケアプラザが直接、ボランティアと地域活動をつなげるといったことも少なくないので、区社会福祉協議会で登録者数を更に増やさなくてはいけないというよりは、地域に近いところの地域ケアプラザでボランティアの調整もできるとよいと考えている。地域ケアプラザの地域活動交流コーディネーターとは毎月連絡会を開催して地域活動等に関する情報共有はしているので、福祉保健活動拠点に相談があった時でも、場合によっては地域ケアプラザにつなぐといった支援の仕方もある。福祉保健活動拠点での登録が第一というよりは、身近なところでボランティアと地域活動がつながるように考えている。

3 指定候補者の選定、講評

申請者から提出された申請書類及びプレゼンテーション等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

横浜市泉区福祉保健活動拠点

	申請団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 横浜市泉区社会福祉 協議会	800／1,150 点	753／630 点

(審査講評)

- ・提案資料、プレゼンテーションともにわかりやすく、たいへん充実した内容で高く評価できます。
- ・泉サポートプロジェクトについて、広く区民全体に周知していただくとともに、地域ニーズを十分にアセスメントし、マッチングすることで、プロジェクトの活動の充実発展につながることを期待します。
- ・発災時などを見据えボランティアへの感染症対策の研修を区役所（保健所）等とも連携して行うなど、感染症の発生・まん延に備えるための取組についても進めていただくことを期待します。

申請者の得点は、最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉

	法人横浜市泉区社会福祉協議会を指定候補者として選定することを決定する。
資 料 特 記 事 項	<u>1 資料</u> 資料1 横浜市泉区福祉保健活動拠点指定管理者選定委員会名簿 資料2 横浜市泉区福祉保健活動拠点申請法人の財務分析結果報告書 資料3 横浜市泉区福祉保健活動拠点申請法人の前期の指定管理業務の実績報告書 資料4 横浜市泉区福祉保健活動拠点の指定管理者評価基準項目（評価シート） <u>2 特記事項</u> 特になし